

北九州市防災フェア(防災訓練)が開催されました



11月19日ジ・アウトレット北九州の西側駐車場で北九州市防災フェア(訓練)が開催されました。

「防災」をより身近に感じられるイベントで、消防車やパトカーなど防災に関する車が大集合する車両展示コーナーや企業などによる防災啓発ブースなども設けられました。また、会場内に用意された3つのクイズに答えていく防災クイズラリーもあり、クイズの答えを全て書いてイベント受付に用紙を持っていくと参加賞などがもらえました。

当日は、地震体験車の乗車体験が実施され地震の怖さを肌で感じることも出来ました。なお、今回は枝光地域の方々も徒歩で避難するという大掛かりな訓練となりました。アウトレットモールの方々の皆様にもご参加をいただき大変有意義なものとなりました。



来賓として訓練を見守る

北九州市議会議員 八幡東区

白石かずひろの ハートフル通信

No.54 新春号

[発行日] 令和5年1月 [発行人・編集人] 白石一裕

2023

北橋市長4期16年、締めくくりの12月議会が開催されました。

～多くの課題解決や、本市の将来展望に明るい道すじをつけられ、勇退を明言～



北橋市長に最後の質問で登壇

令和5年の新春にあたり、皆さま方にはお健やかに過ごしの事とお慶び申し上げます。

タイトルにもお示し致しましたが、北橋健治市長が4期16年の市長職をまっとうされ、本年2月にご勇退される事となりました。

私も市議会に送っていただいてから、この間、執行部と議会の関係を保ちつつ、市長には様々な提案や要望を受け入れて頂き感謝の言葉もありません。

また、私自身1期目より、北橋市政を支えるとお約束申し上げており、市長1期目は他党派も現在の様な協力体制はなく、議会との関係にご苦労されておられました。

それから早、14年あまりの月日が経ちましたが、印象深いのは平成23年3月に発生した東日本大地震です。本市は職員を釜石市に派遣したり、様々な支援を行いました。特筆すべきは震災ガレキの受け入れでした。その事で全国から受け入れ反対者が議場を占拠し、騒然とした中での本会議は今も鮮明に脳裏に焼き付いています。

暴力追放運動も大きなうねりとなり、現在の様な安心な街づくりが構築出来たことは様々な分

野で好循環を生み出しました。

令和4年12月議会は北橋市長にとっての最後の議会であることから、私自身、最終登壇者として、これまでのご労苦に対して労いの意味を込めた質問をさせて頂きました。衆議院議員6期、北九州市長4期の長きにわたり、ここ北九州市を中心に様々な維持発展にご努力され成果をもたらした功績はまことに顕著であり、大いに讃えられるものと考えています。

多くの市民や有権者からは「引退は惜しい、まだ出来るやろ！」などの声をいただきましたが、ここはご本人の決断を尊重したいと考えました。

名残惜しい気持ちは皆さまと共有しながら、次の市長にも北橋イズムを継承して頂きたいとの気持ちです。

北九州市は市長と市議の選挙が2年ずれており、今回は市長選の年ですが、近年の投票率の低さに苦慮しています。本市の将来の大きな分岐点ともなり得る大切な選挙です。是非関心を高めて頂き、皆さまと共に明るい将来に結びつく選挙にしたいと考えています。

新型コロナウイルス感染が長期化する中、活動が再開されているものの、再拡大の傾向もあり、まだまだ以前のような賑わいが期待出来ず、40年ぶりの物価高なども、憂慮される事態が今後も続くと思われませんが、今一度、政治に対する関心を高めて頂きたいと思っています。

北九州市長選 投票日

2023年 2月5日(日)

3面関連記事

レインボー広場

光のアートが登場!

12月、各地で繰り広げられているイルミネーションが、ついにレインボー広場で今年「光のアート」として登場しました。八幡中央高校美術部の生徒さんによる世界パネルがお披露目され、ライトアップされたイルミネーションが広場に出現しました。

12月16日金曜日は18時30分より点灯式・乾杯式が行われました。会場には八幡東区枝光の山本工作所より寄贈いただいたクリスマスカラーの色鮮やかなドラム缶テーブルも雰囲気盛り上げていました。本年、北九州市は「日本新三大夜景」に1位で再認定され注目を集めていますが、このような場所にも注目される、明りのアートが地域を盛り上げています。点灯期間は12月16日～12月25日まで行われました。来年以降も続けていけるかどうかは、皆さんの応援によるものと考えています。



供用開始が待たれる春の町ランプ

国道3号 春の町ランプを現地視察

国道3号黒崎バイパスは渋滞緩和などを図るため、平成3年より事業を進めています。

北九州都市高速道路と一体となって自動車専用道路ネットワークを形成します。前田ランプから都市高速までが開通して10年が経過し、ようやく令和4年度内に春の町ランプが完成するとしています。12月13日に完成間近のランプを視察させていただき実感がわいてきました。

今般、春の町ランプの橋梁上部工工事が完了したことに伴い、陣原ONランプと春の町ランプが年度内に供用を開始する見込みです。完成すると交通混雑の緩和や交通事故の減少、災害に対するネットワークの機能が強化するとされています。1日も早い開通を願っています。

プロフィール	生年月日	昭和31年8月21日 八幡東区生まれ	職歴	福岡県済生会八幡総合病院勤務(診療放射線技師) 平成21年 北九州市議会議員 初当選 平成25年 北九州市議会議員 2期目当選 平成29年 北九州市議会議員 3期目当選 令和 3年 北九州市議会議員 4期目当選
	学歴	北九州市立大蔵小学校卒業 北九州市立大蔵中学校卒業 福岡県立北九州高校卒業 川崎医療短期大学放射線技術科卒業		
	所属	ハートフル会派市議団 幹事長、八幡東区議員懇話会 会長 立憲民主党福岡県連 幹事長代理 都市計画審議会委員、建設・建築委員会所属 議会改革協議会委員 北九州市卓球協会会長 令和5年1月1日現在		
		北九州市議会議員 白石かずひろ事務所 TEL.093-681-6128 FAX.093-681-6138 e-mail k-sris@hop.ocn.ne.jp URL http://www.shiraishi-k.com		

この市政レポートは、市議会各会派に交付される政務活動費を用いて作成しています。
●重複して送付されたり、宛名変更などがある場合は、お手数ですが白石かずひろ事務所までご一報ください。

政策実現が 議員の使命です!

大きな課題から小さな問題まであらゆるご相談にお答えします。皆様の課題解決こそが白石かずひろの使命です。



12月議会一般質問答弁

北橋市長 ご勇退に向け、 最終登壇者として最後の質問 「北橋市政16年を振り返って」



再質問で市長の思いをうかがう

質問要旨 Question

北橋市長は平成19年2月に市長就任以来、4期16年に渡り、本市の市政運営に取り組んできた。4期にわたる市政運営のかじ取りは、順風満帆とはいかなかったのではないかと拝察する。しかしながら、市民の目線に立つことや市民感覚を大切に、一党一派に偏することのない、会派を超えた「市民党」の立場から、北九州市の基本構想・基本計画「元気発進！北九州」プランに基づいた「人にやさしく元気なまちづくり」を推進してきた。～中略～

私は一市議会議員として、ひとえに北九州市発展のため、北橋市長とともに進んできた。

これまでの私の議員生活は、北橋市長の取り組みとともに歩んできたと言っても過言ではないと思っている。また我が会派であるハートフル北九州市議会議員団は、北橋市長が当初掲げていた市民目線に立ったハートフル市政を支え、更にはハートフル政策の充実を目指すことを目的として、誕生した会派でもある。北橋市政における成果については、4期目最終年である今年に入り、何度も取り上げられ市長自身からも説明があった。

過去の負のイメージを払拭し、今や北九州市は、子育てしやすい環境都市として「次世代育成環境ランキング」政令市部門11年連続1位、「日本新三大夜景都市」では、平成30年に続く全国ランキング1位で再認定された。～中略～

北橋市政の16年に残された足跡については、枚挙にいとまがない。そこで尋ねる、任期が残りわずかとなった今、就任当初から思い描いていた街の姿になっているか？自身でもっとも実績があった点などを総括していただきたい。

市長 答弁 Answer

最初の公約は「人にやさしく、元気なまちづくり」という言葉だった。

できるだけ対話という、当たり前のことではあるが、いろんな方々との対話をできるだけ大事にしながら、



市長として最後のご挨拶

市政の運営にあたってきた。市民各界の方の意見を拝聴することや、自分も議員の末席にいたが、やはり民意を代表する議会の議員おひとりお一人の発言が、市長にとって、市役所にとって一番重いことと16年経って思っている。もし評価をいただけるものがあれば、議員各位の16年間の叱咤激励、ご指導の賜物と感じている。

「元気発進！北九州」プランという名前スタートしたが、「人づくり」という言葉を前面に掲げた。お金が潤沢にあれば別だが、なかなか1期目の時は厳しい財政状況だった。各局一生懸命であるから、それぞれが予算を取ろうと必死である。それぞれに応援団もある。そういう中でやはり「人づくり」というのが、まちづくりの原点ではないかと考えその言葉を選んだことと、子育て支援が日本一だと実感していただけるまちというスローガンは、市民にとっても分かりやすいと考えた。前任の時に、かなりの額の上で公共事業をやっていた。ハードも大事だがソフトにも力を入れてほしいとのニーズが強かった。したがって子育てという言葉で財政のシェアを図った。放課後児童クラブの全児童化、これは国では最も早い段階で、実現にあたっては議員にも助けていただいた。医療費助成や保育士の配置基準、子ども食堂などもスタートさせた。退職者の補充率を下げるなどにより、行政全体が簡素効率化に向かった。その他、中学校給食や特別支援学校、耐震工事やエアコン、子ども図書館などもやってきた。

一方、若者の定着課題は16年間大きなテーマであり続けた。この問題意識で、ゆめみらいネットワークを始めた。これは職員のアイデアで支えてもらった。また、「暮らしづくり」。最初の問題は市営住宅で生活保護が受給できなくて白骨死体で発見されたことに行政がどう向き合うかで、全国にかなり報道されたが、私も公務の最初は門司の市営住宅にお花を持ってお参りに行くことだった。こういうことを無くすため、第三者の検討委員会を立ち上げ生活保護行政をやった。

いのちをつなぐネットワーク、八幡病院、療育センター、障害のある方の文化・スポーツ・東アジア文化都市もやらせていただいた。これからも県と政令市、福岡県と北九州市の信頼関係を大事にしていくことがプラスになる。～中略～
これからも議会の皆様の方の英知を結集して次期市長のもと、イニシアチブで前進していくことを心から願っている。

東アジアホープス卓球 2022が 北九州市で開催！



日本チームにメダルを授与

12月2日から4日にかけて北九州市立総合体育館でATTU第31回東アジアホープス卓球大会が開催されました。中国・韓国・チャイニーズタイペイなど東アジア地域のホープ世代の選手が参加して開催されました。卓球日本のスター候補が躍動しました。男女の団体戦、個人戦が行われました。日本は男女ともにAチームBチームでのぞみましたが、男子が3位と4位女子は準優勝と3位でした。過去には早田ひなさんも出場し活躍した大会でもあり、世界レベルの登壇ともいえるべき大会です。私も北九州市卓球協会の会長として表彰式に参加させていただきました。このような世界レベルの大会が本市で開催されることの意義は大変大きいものがあるといえ、大会関係者や、市職員の関係者にあらためてお礼申し上げます。



桃園武道場がいよいよ建設へ



白石提案の仮称桃園武道場は、桃園弓道場の老朽化と八幡東柔剣道場の移転を受け、桃園公園内に整備されますが、いよいよ工事の契約が成立し、イメージ図が発表されました。近年の夏場は気温も高く、エアコン完備が求められていますが、この武道場が完成しますと、利用者の快適性や安全性もより高まり、喜ばれる施設になると確信します。

本市は公共施設のマネジメントに取り組んでおり、すべての施設を更新できるわけではありませんが、必要な施設を絞り込んで更新などを決定しています。その意味ではこの施設の整備は地域にとっても関係者にとっても大きく、何より利用者みなさんに快適に利用していただけたらと思います。完成まで今しばらくお待ちください。



武道場のイラストが初めて明らかに！



ポテトの ひとりごと

こんにちはポテトです！皆さま明けましておめでとうございます。寒～い冬がやってきました。ポテトとミロは寒さがとても苦手です。でもこの冬、父さんが湯たんぽを買ってくれたおかげでぬくぬくお屋敷できています(喜)ポテトとミロには優しい父さんですが、何でもやりっぱなしで片付けできない父さんは、毎日母さんを困らせています。年末の大掃除で本当に汚かった父さんの部屋をやっと片付けることができました。まあ色んなものが出てくる！出てくる。書類の山の下にネクタイが20本以上、脱ぎ捨てられたままのシャツや靴下、開封されてない箱が4個も！その中には新品のワイシャツが何枚も入っていて、しかも同じ柄のシャツが2枚×3セットも(驚)母さん、さすがに呆れていました。こんな父さんですが、今年もよろしく願いいたします。

